

三重県交通安全研修センター一応より

～三重県交通安全研修センターをご存知ですか？～

幼児から高齢者まですべての方が、日常生活の中に潜んでいる交通に関する様々な危険について学習し、楽しみながら身をもって交通ルールやマナーを学ぶことが出来る施設です。
団体研修も行っています！

ご利用はすべて無料！

- ♪開館時間：午前 9:30～午後 4:30
- ♪休館日：土曜・祝日・年末年始
(12/29～1/3)
- ♪(TEL) 059-224-7721
- ♪(FAX) 059-224-7641
- ♪〒514-8518 津市壘水2566
(三重県運転免許センター4階)
- ♪<http://www.safetyplaza-mie.com>

～聞く・見る・体験する～

シミュレータ

あなたの反応時間は？
的確な判断できる？



展示ゾーン

どんな危険があるの？
夜間・死角・交差点…



自転車コース

ルール知ってるかな？
自転車も車の仲間だよ



実車体験

いざという時大丈夫？
車は急にとまれない！



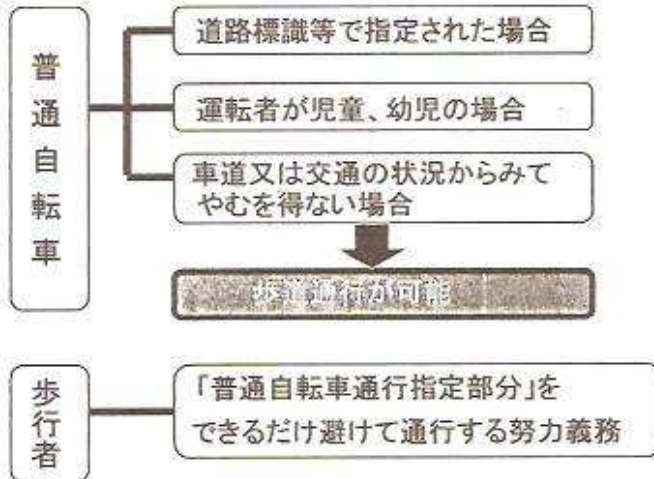
実際に聞いて・見て・体験することが大切です！一人でも大丈夫、お気軽にお越し下さい。
団体研修はお電話でご予約下さい。お待ちしております！



道路交通法の改正

◎ 自転車利用者対策

1 普通自転車の歩道通行可能要件の明確化



2 乗車用ヘルメット着用努力義務の導入

児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるときは、乗車用ヘルメットをかぶらせるように努めなければなりません。



3 地域交通安全活動推進委員の活動内容の見直し



地域交通安全活動推進委員の活動に、「自転車の適正な通行の方法について住民の理解を深めるための運動の推進」が加えられ、自転車の通行ルールに関する広報啓発や街頭活動が活性化されます。

◎ 高齢運転者対策等

75歳以上の者及び聴覚障害者の保護

- 75歳以上の者及び聴覚障害者(*)は、普通自動車を運転する場合、それぞれ内閣府令で定める「高齢運転者標識」、「聴覚障害者標識」を表示しなければなりません。

(*)ワイドミラーの装着を条件として免許を取得した聴覚障害者

罰則 2万円以下の罰金または科料

- これらの標識を表示した普通自動車に対する幅寄せ等が禁止されています。

罰則 5万円以下の罰金



◎ 被害軽減対策

後部座席シートベルトの着用義務付け

- 自動車の運転者は、助手席以外についても、シートベルトを装着しない者を乗車させて自動車を運転してはいけません。

後部座席のシートベルトの必要性
シートベルトを締めていないと・・・

前席乗員が頭部に
重傷を負う確率が
着用時の**51倍**！



時速40kmでコンクリートの壁に正面衝突した場合

体重の30倍以上の衝撃（体重60kgの人で1.8t以上）で、乗員同士が激しくぶつかりあいます。

車内のどこに乗っていても、この衝撃の大きさは同様に伝わります！

◎ その他の規定の整備

警察署長が移動保管した放置車両に関する規定の整備



車のドアを閉めるとき、強く閉めていませんか？

ドアを閉めるときには、二つの安全に注意しなければいけません。一つは、自分自身や近くにいる人の手や指を挟まないよう考慮すること。もう一つは、確実に閉めること。

この確実に閉めるために、ドアを強く閉める人がいますが、勢いよく閉めれば確実に閉まるというわけではありません。それに、強く閉めれば手を挟まないようにするといった安全がおろそかになってしまいます。

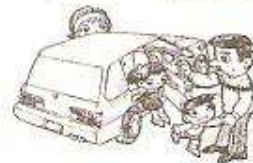
手を挟まず、確実に閉めるスマートなドアの閉め方は……

◎ 閉めていって20cm手前になったらドアを一度止める。

◎ ドアハンドルに手を添えてゴツンと押し込むように閉める。

20cm手前でドアを止めることにより、手や指を挟みそうな場合でも挟みそうな人は手を引っ込める余裕ができるし、閉める側も確認することができます。ドアハンドルを持っているから、手を挟みそうだと気がつけばすぐにドアを止めることができます。車に乗り込んでからドアを閉める場合も同じです。

ドアの開閉音は、結構響きます。遠くから勢いよく閉めれば更に大きな音がしてしまいます。ドアを閉めるときは、安全に静かに、そしてスマートに閉めるようにしましょう。



これからの季節 どんな事に気をつけたらいいか考えてみませんか？

春には春の道路事情があります。4月には新入児童・社員にかかわる危険がありますね。免許取りたてで、運転に慣れていない人も多いでしょう。5月にはゴールデンウィークもありますね。また6月は梅雨の時期なので危険なことも多いでしょう。安全のためには、それに対応した運転が必要です。

新入児童・社員は、注意が散漫になりがちです。

ついよ事を考えて危険な運転になってしまうかもしれません。

また、免許取りたての人が多くなる季節ですから、

運転に慣れていない人が多いことも頭に入れておいた方がいいでしょう。

危険を予測し、お互いが気をつけましょう。

4月



ゴールデンウィークはどこも渋滞だらけ。

渋滞時の走り方をしっかりと身につけるとともに、準備も万全を期す必要があります。

渋滞にはまると誰でもイライラしますが、冷静な走りに対応しましょう。

バックミラーで後方の様子を確認することが大事です。走行中は、前後左右に限らず注意

を払っているドライバーでも、渋滞にはまってしまうと、自分の後ろには関心がなくなりがちです。しかし、後方には、まだ交差点に残っている車がいるかもしれません。交差点に残された車は、交差する道路に新たな渋滞を引き起こすかもしれないのです。こんな時に、バックミラーで後ろの様子を確認していれば、少し前につめてその車を無事に交差点の外に出してあげることができるのです。

渋滞時には心の余裕がなくなって、車間距離の確保などの

基本的な行動を忘れがちになります。周囲の行動に目を配ると同時に、

何かあったら自分が移動できるくらいの余裕を残しておくといいですね。

5月



梅雨の時期には路面が濡れていたり、いつもより暗かったり、運転時の条件が悪くなります。

速度を抑え、車間距離を多めにとりましょう。昼間でも薄暗かったらライトをつけましょう。また、窓が曇りやすくなりますから気をつけてください。曇りは車内側

につく場合と外側につく場合があります。車内側の場合は、外気温が急激に下がり、ガラス

が冷やされ、車内の水蒸気が触れることで発生しており、これはエアコンによってとれます。暑いのでエアコンをそのままかけっぱなしにしておくとも再び曇ってくる場合があります。これを逆転結露と言います。逆転結露をとるにはワイパーを使用することになります。窓の曇りで視界が悪くなりますから、うまく使い分けて十分に

注意してください。車のガラスはエアコンによって冷やされています。外は水蒸気が大量に発生しています。

その水蒸気がエアコンによって冷やされたガラスに触れることで結露が発生します。これを防ぐには、エアコンの風を窓に直接当てないようにすることです。

6月

その水蒸気がエアコンによって冷やされたガラスに触れることで結露が発生します。これを防ぐには、エアコンの風を窓に直接当てないようにすることです。